
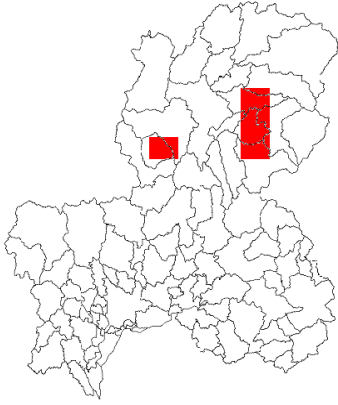


マダイオウ	<i>Rumex madaio</i> Makino	絶滅危惧 I 類
		タデ科
選定理由	多くの生育地では生育条件が悪化しつつあり、個体数も減少している。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	多年草草本、高さ70-150cm。茎の葉は大きく、裏面脈上に硬い短毛を密生する。基部は心形-円形。果時の翼状萼片には鋭鋸歯縁がある。果柄に関節がある。	
生態的特徴	川辺付近の水湿地に生育している。	
分布状況	日本特産、本州・四国・九州に分布、岐阜県では飛騨地方の山地に分布している。	
減少要因	生育地の乾燥化など生育条件の悪化による。	
保全対策	土地の乾燥化など生育条件の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:須賀瑛文